

オルガノ株式会社

2012年3月期決算説明会

(2012年5月16日 16:00~)

2012年3月期 決算報告 及び 2013年3月期 計画

代表取締役社長
内田 裕行

連結対象グループ会社(国内)

オルガノ北海道

オルガノ東北

オルガノ中部

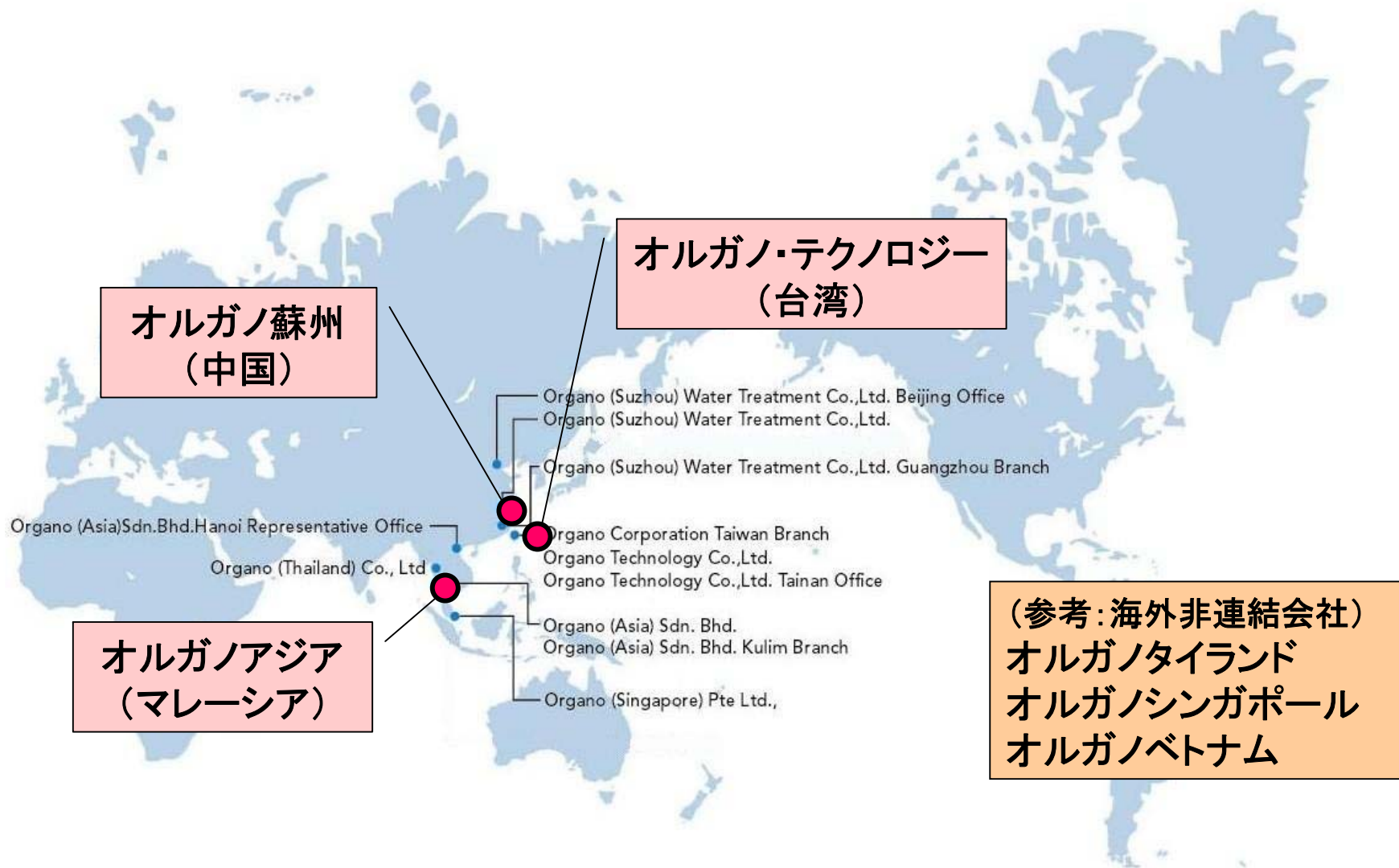
オルガノフードテック

オルガノ関西

オルガノ、オルガノ東京
オルガノプラントサービス、
オルガノアクティ

オルガノ九州

連結対象グループ会社(海外)



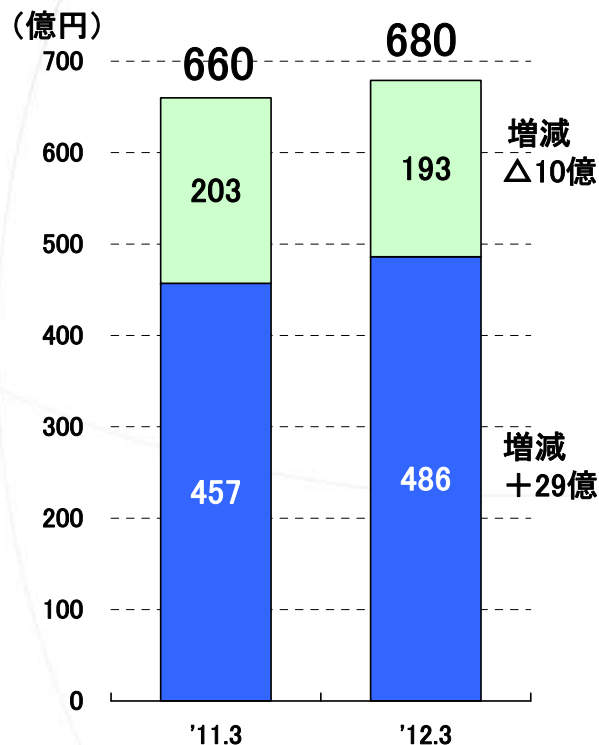
2012年3月期実績

(単位:億円)

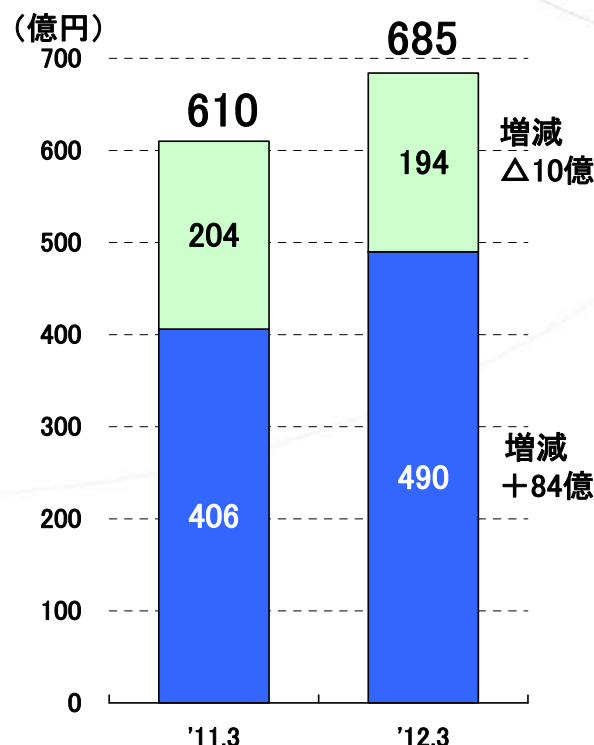
	11.3 実績	12.3 計画	12.3 実績	前期差	計画差
受注高	660	670	680	+ 20	+ 10
売上高	610	670	685	+ 75	+ 15
売上総利益 (%)	159 (26.1%)	166 (24.8%)	183 (26.8%)	+ 24 +0.7pt	+ 17 +2.0pt
販管費	124	126	135	+ 11	+ 9
営業利益	35	40	48	+ 13	+ 8
経常利益	33	38	47	+ 14	+ 9
当期純利益	18	21	26	+ 8	+ 5

2012年3月期実績(セグメント別)

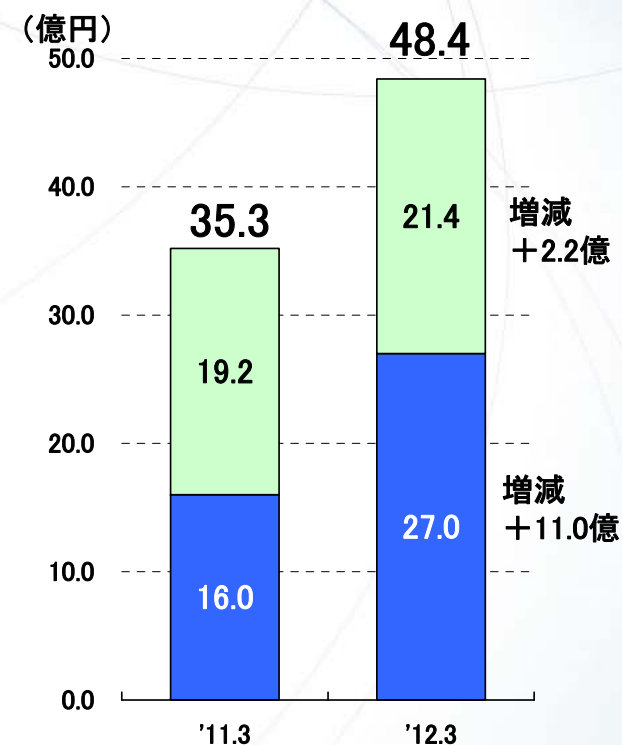
受注高



売上高



営業利益



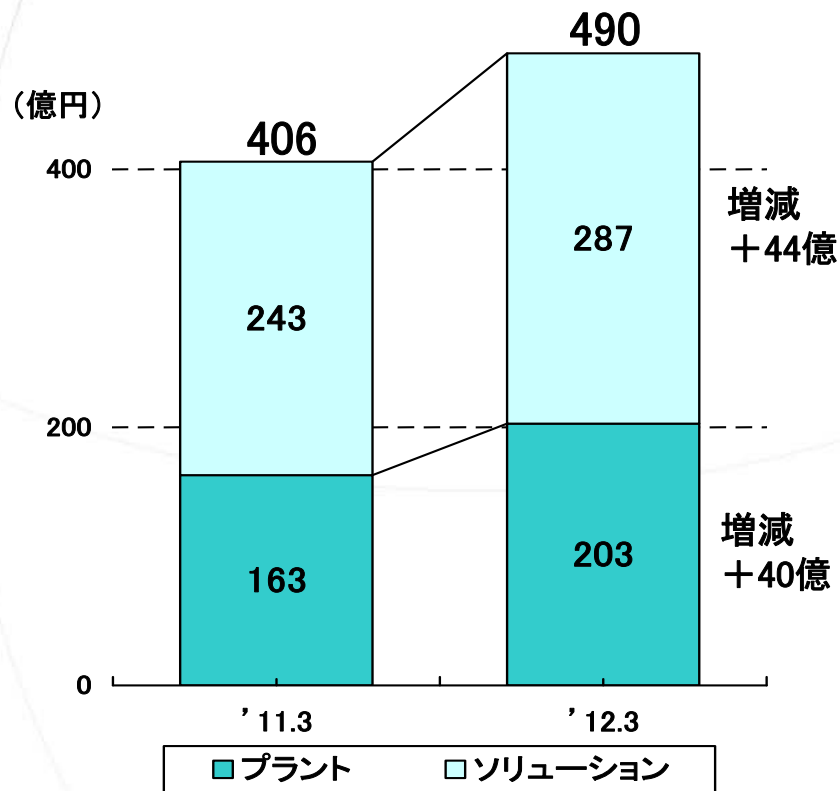
■ 水処理エンジニアリング ■ 機能商品事業

【水処理エンジニアリング】：メンテナンスや改造工事などのソリューションビジネスを中心に電子産業及び一般産業分野で売上が増加した。

【機能商品事業】：顧客工場の操業度低下などにより産業全般で売上が低調に推移した。

部門・顧客別売上高(水処理エンジニアリング事業)

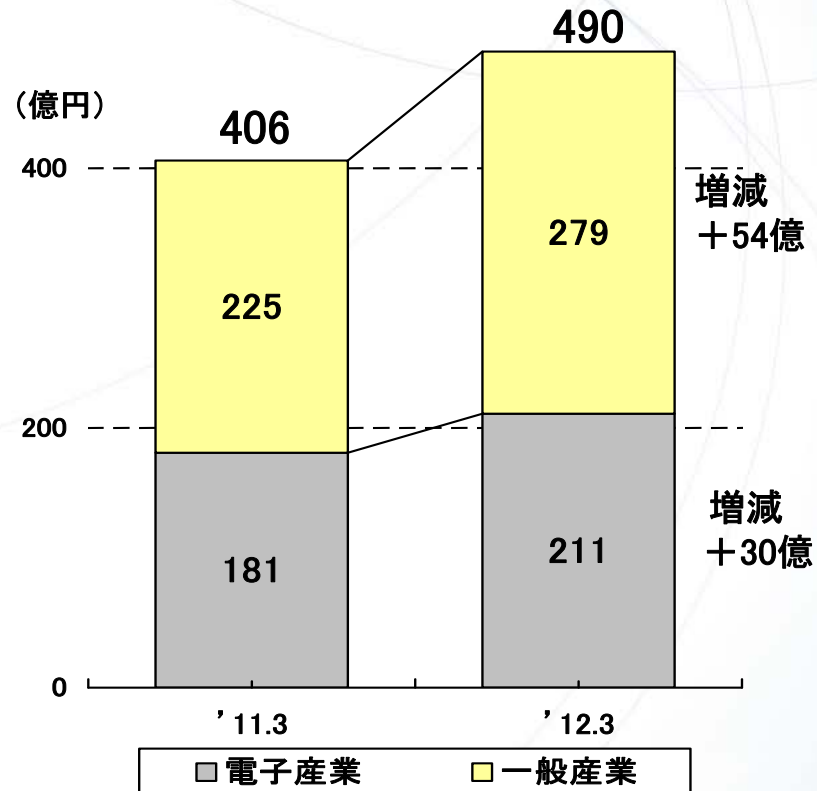
部門別売上高



【プラント】:前期に受注した案件が順調に売上計上されたことなどにより増加した。

【ソリューション】:震災の復旧対応や改造提案の伸長などにより増加した。

顧客別売上高

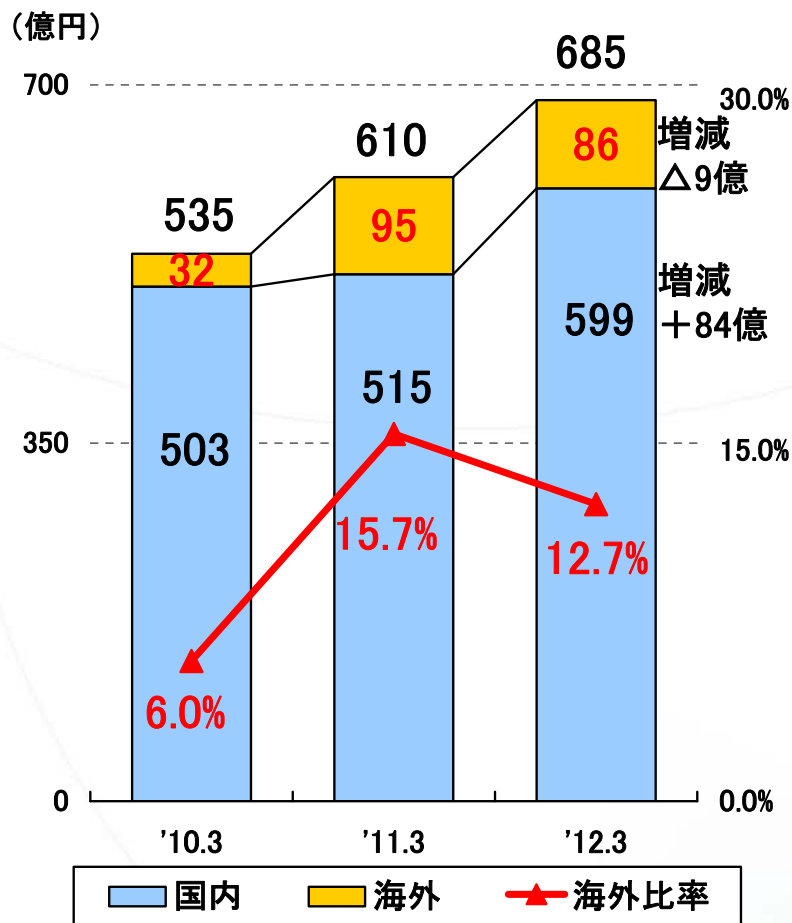


【電子産業】:主にパワー半導体やスマートフォン関連部品メーカーのライン増設などにより増加した。

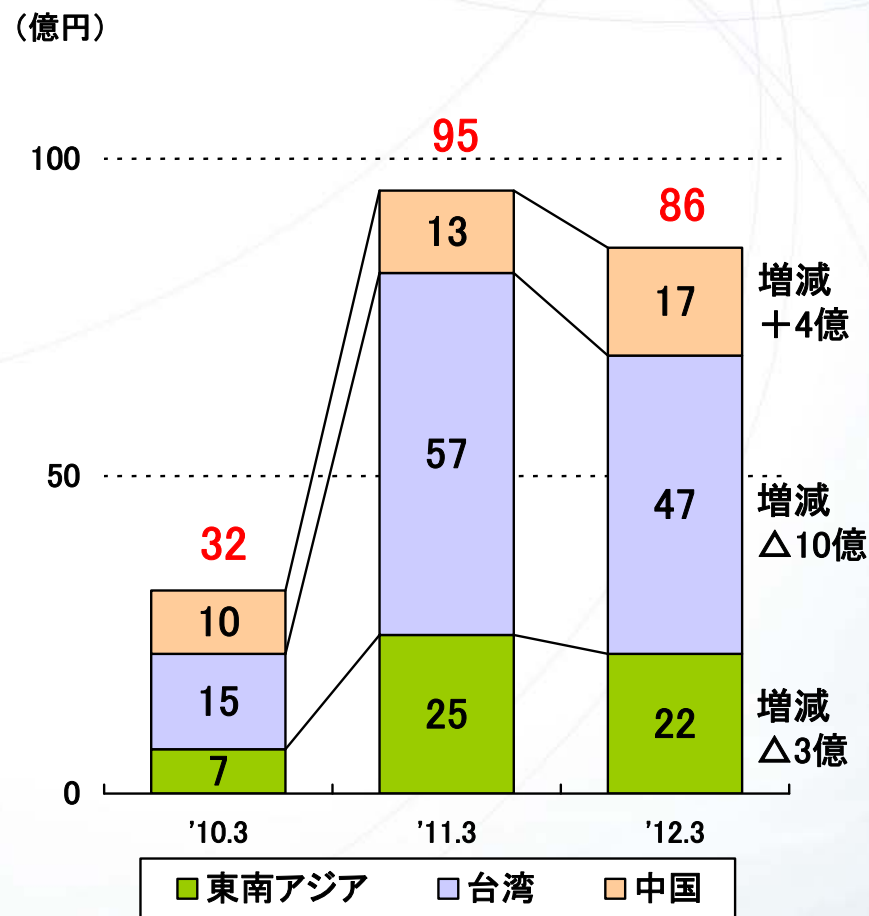
【一般産業】:主に医薬・製薬向けや食品・飲料向けの各種水処理装置などにより増加した。

地域別売上高

国内・海外別売上高

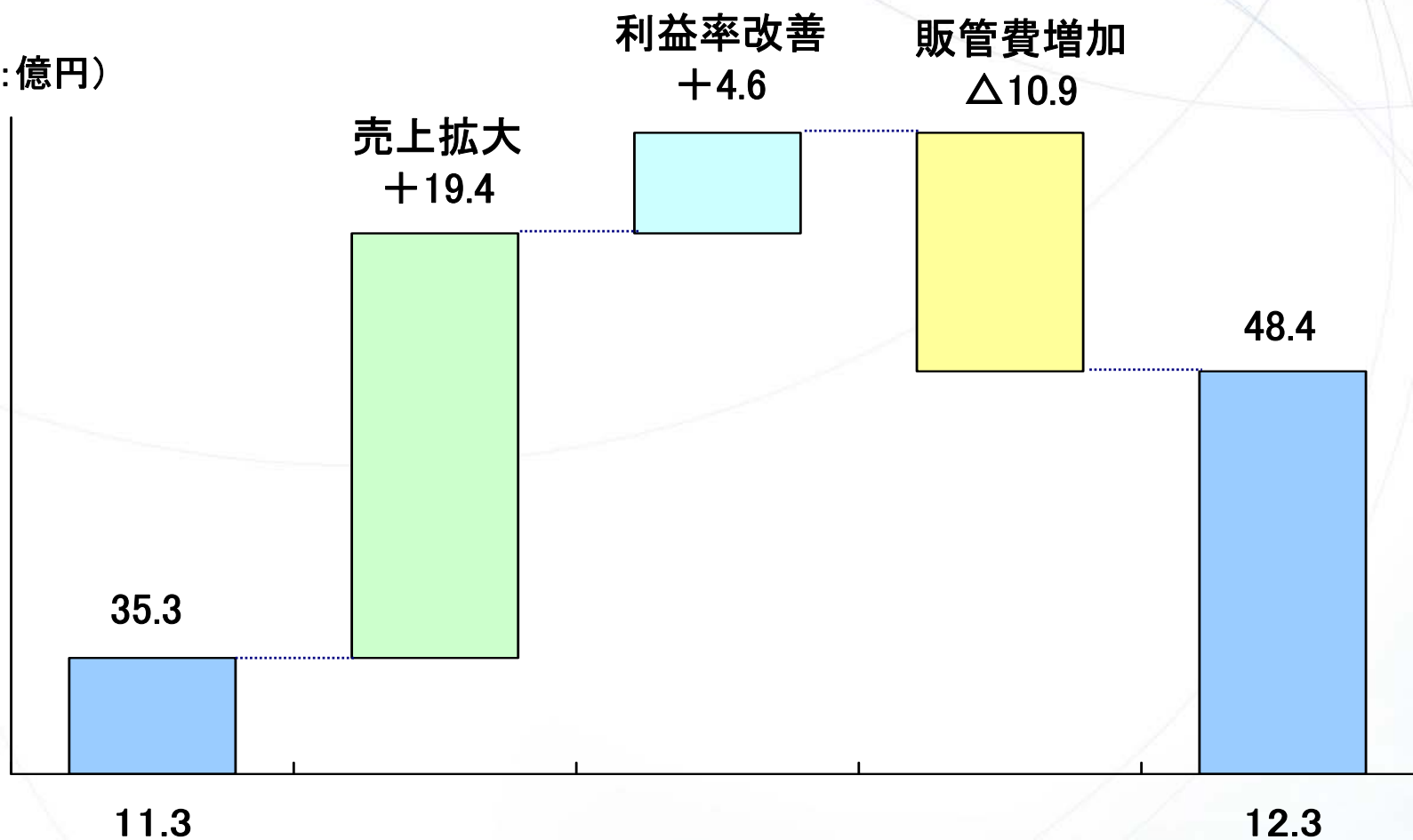


海外地域別売上高



2012年3月期営業利益分析(要因別)

(単位:億円)



2013年3月期計画

【見通し】

- ◎国内は電子産業を始めとする産業全般で企業の生産拠点の統廃合や海外移転などが進み、大型投資は引き続き低水準。
- ◎海外はアジア地域で電子産業及び食品産業分野における設備増設や火力発電所の新設などが見込まれ、需要が高水準継続。

【取り組み】

- ◎国内では中・小型規模（純水／排水）及びソリューション案件への営業体制の強化や他社とのアライアンスなどにより、受注及び売上の拡大を図る。
- ◎海外拠点の人員増加などによる営業体制の強化により、海外市場の受注及び売上の拡大を図る。

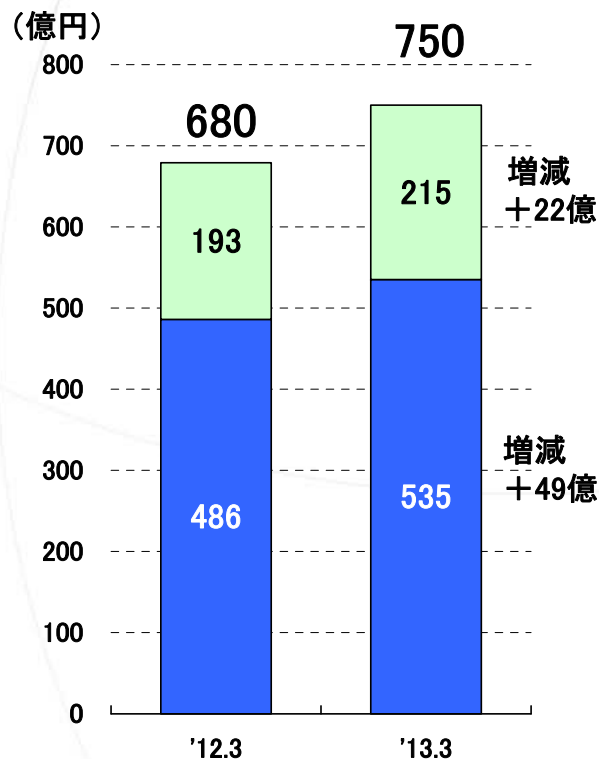
2013年3月期計画

(単位:億円)

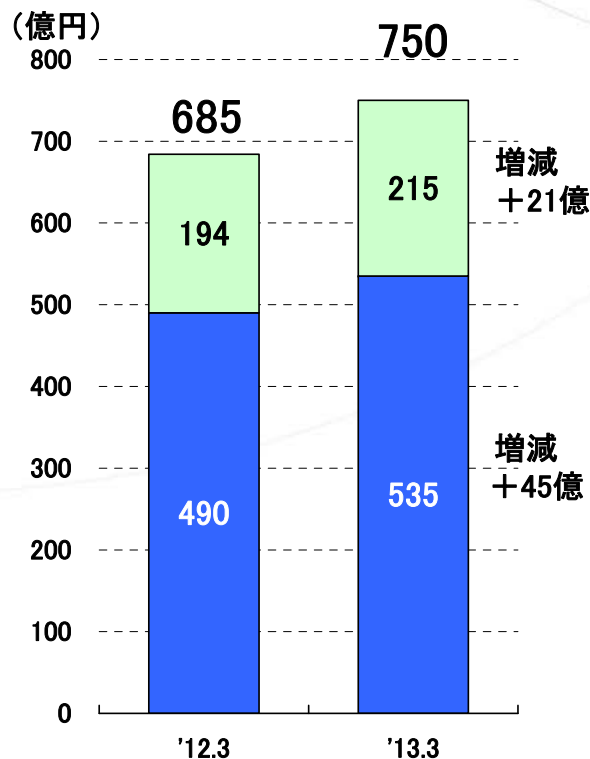
	12.3(実績)		13.3(計画)		上期 比較	通期 比較
	上期	通期	上期	通期		
受注高	376	680	340	750	△ 36	+ 70
売上高	302	685	320	750	+ 18	+ 65
売上総利益 (%)	85 (28.3%)	183 (26.8%)	83 (25.9%)	190 (25.3%)	△ 2 -2.4pt	+ 7 -1.5pt
販管費	64	135	66	140	+ 2	+ 5
営業利益	20	48	17	50	△ 3	+ 2
経常利益 (%)	19 (6.6%)	47 (7.0%)	16 (5.0%)	48 (6.4%)	△ 3 -1.6pt	+ 1 -0.6pt
当期純利益	10	26	9	29	△ 1	+ 3

2013年3月期計画(セグメント別)

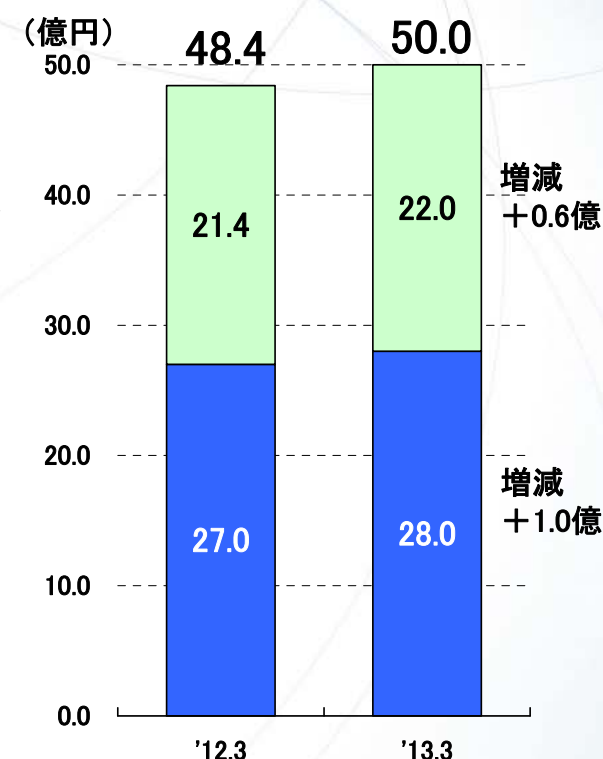
受注高



売上高



営業利益



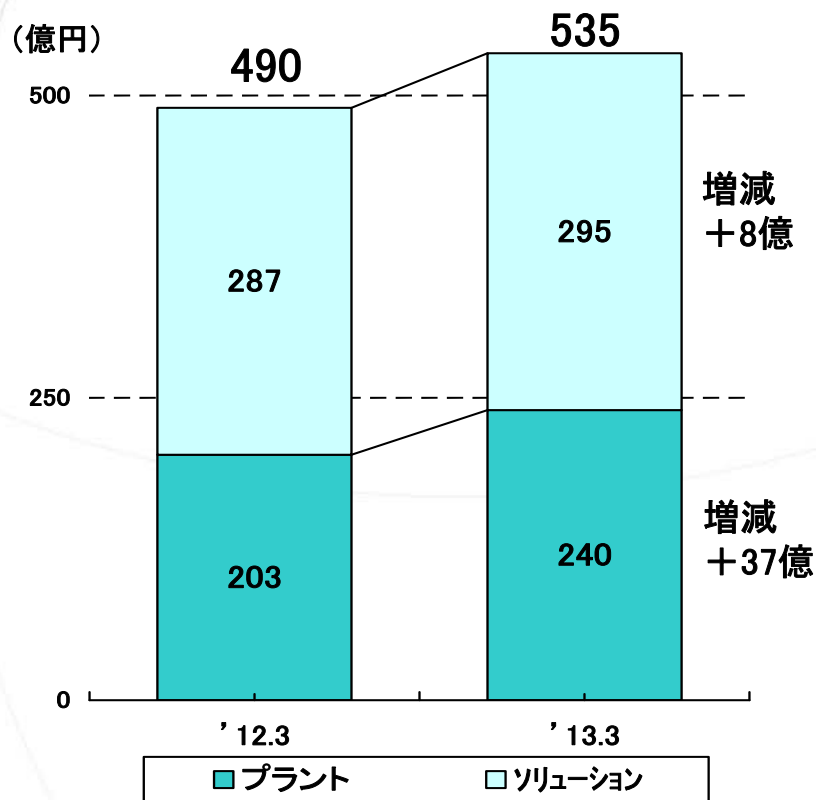
■ 水処理エンジ事業 ■ 機能商品事業

【水処理エンジ事業】：海外の電子産業及び一般産業向けプラント／ソリューションビジネスの伸長や、国内外の食品向けプラントの増設、国内の上下水道プラントの更新などにより、増加を見込む。

【機能商品事業】：新商品の開発やリニューアルなどにより、増加を見込む。

部門・顧客別売上高(水処理エンジニアリング事業)

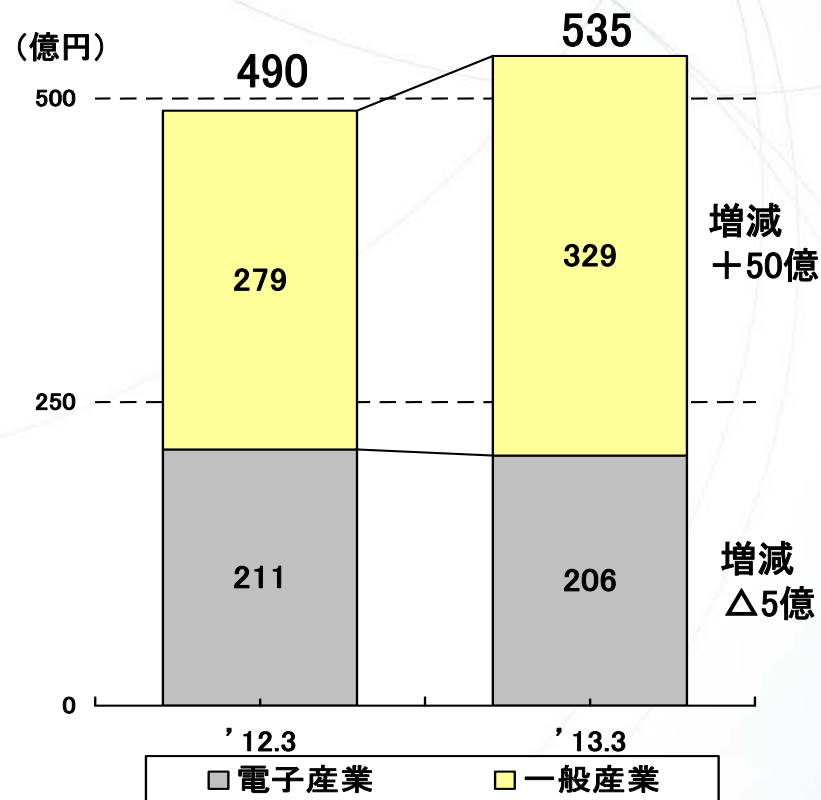
部門別売上高



【プラント】:主に海外の電子産業向けプラントや国内外の食品向けプラント、国内の上下水道プラントなどの伸長により増加を見込む。

【ソリューション】:主に海外の電子産業及び一般産業向けソリューションビジネスの伸長により増加を見込む。

顧客別売上高

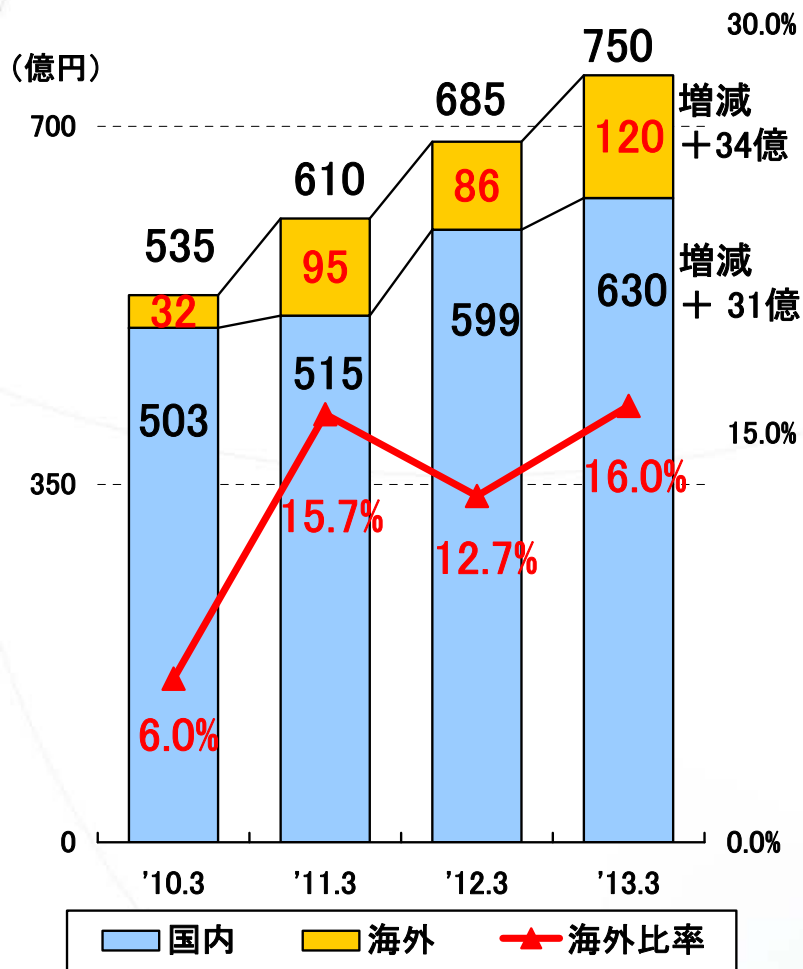


【電子産業】:台湾を中心に海外で増加を見込むも、国内の落ち込みが大きく、減少を見込む。

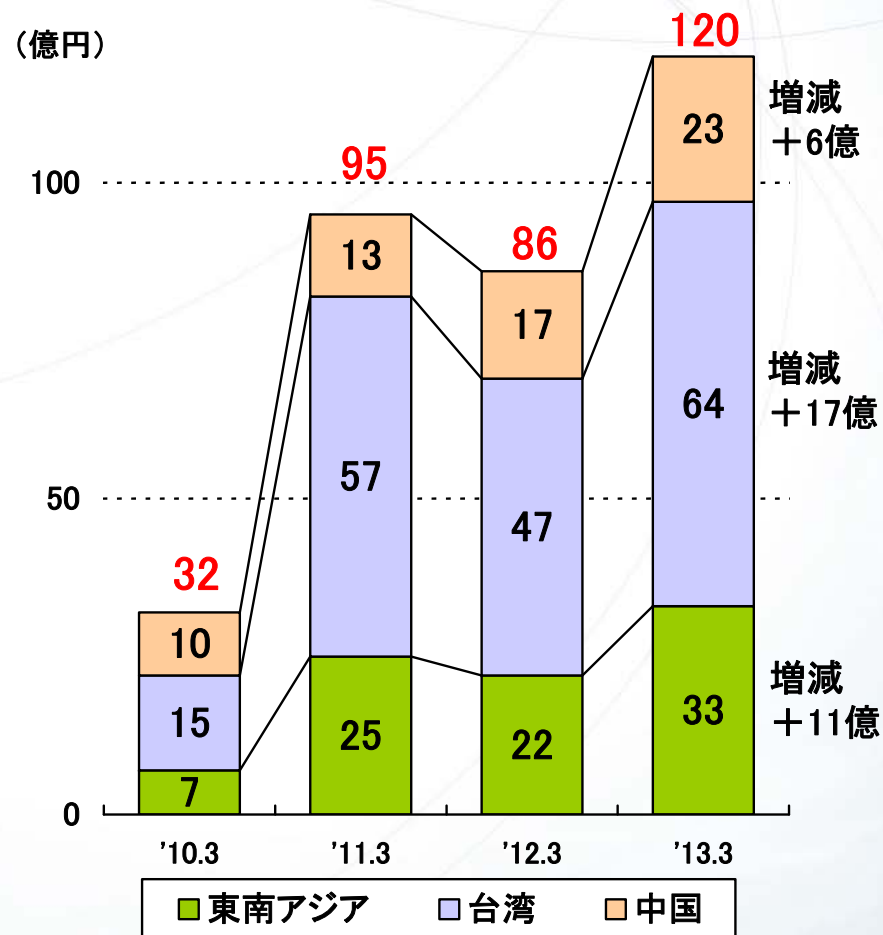
【一般産業】:国内外の食品向けプラントや国内の上下水道プラントなどの伸長により増加を見込む。

地域別売上高

国内・海外別売上高

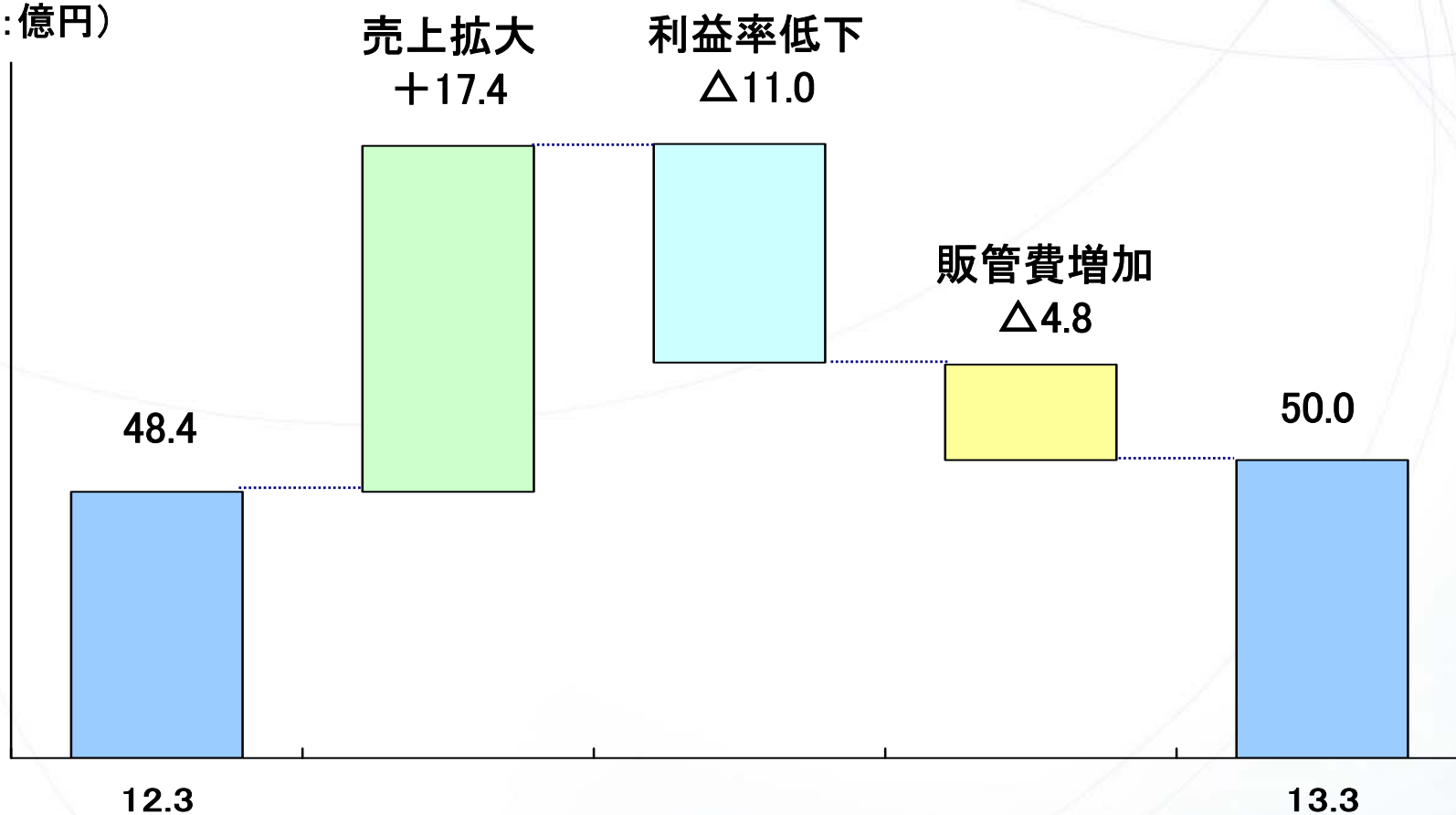


海外地域別売上高

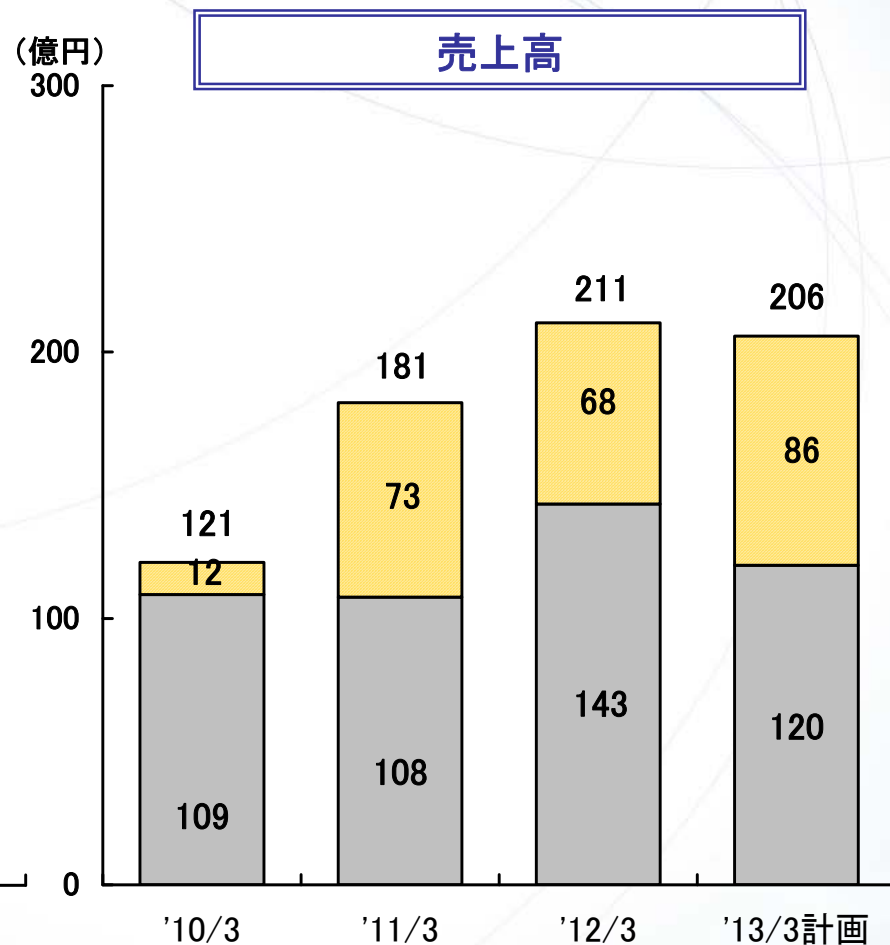
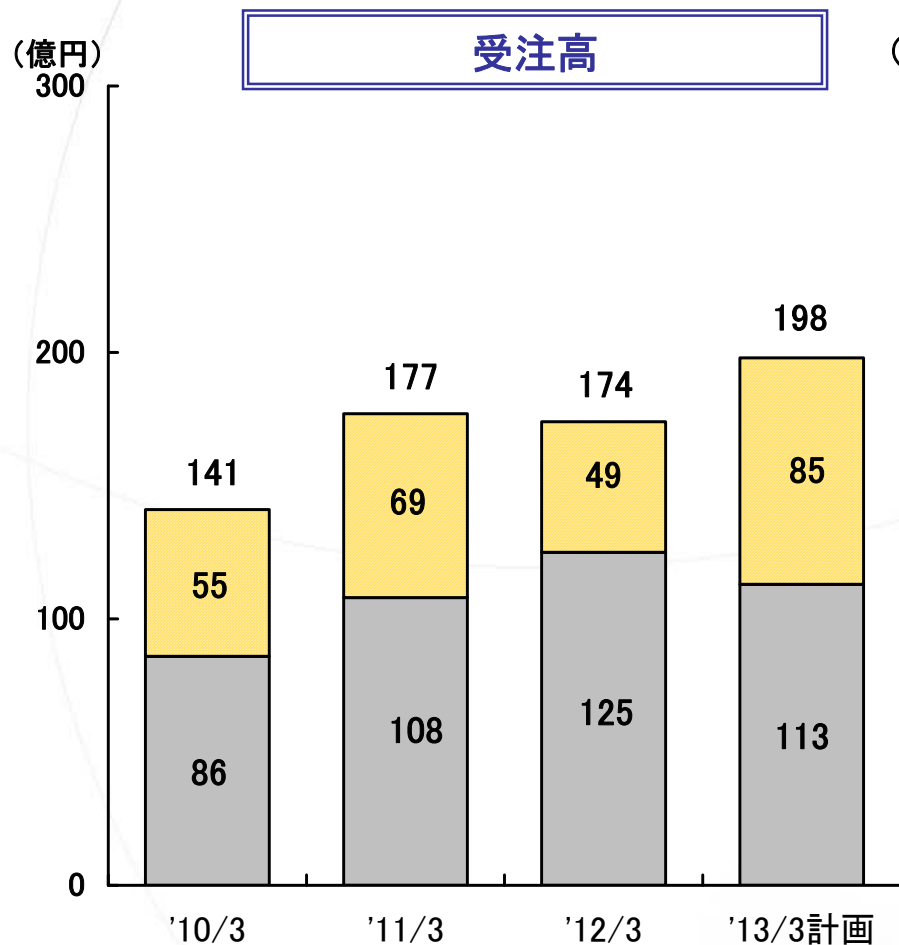


2013年3月期営業利益分析(要因別)

(単位:億円)



電子産業向 受注高／売上高推移



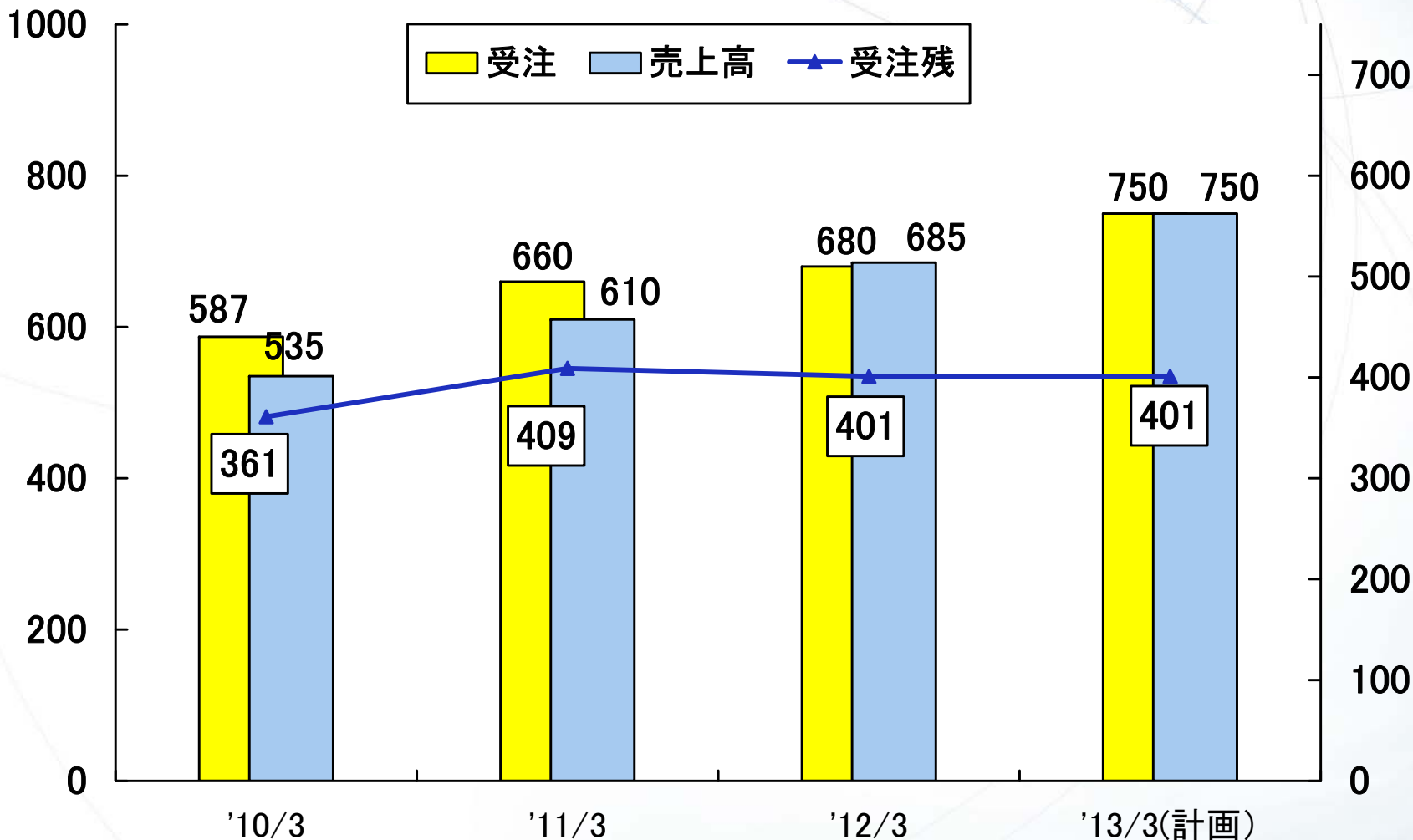
■ 国内 ■ 海外

■ 国内 ■ 海外

受注高・売上高・受注残高推移

受注／売上(億円)

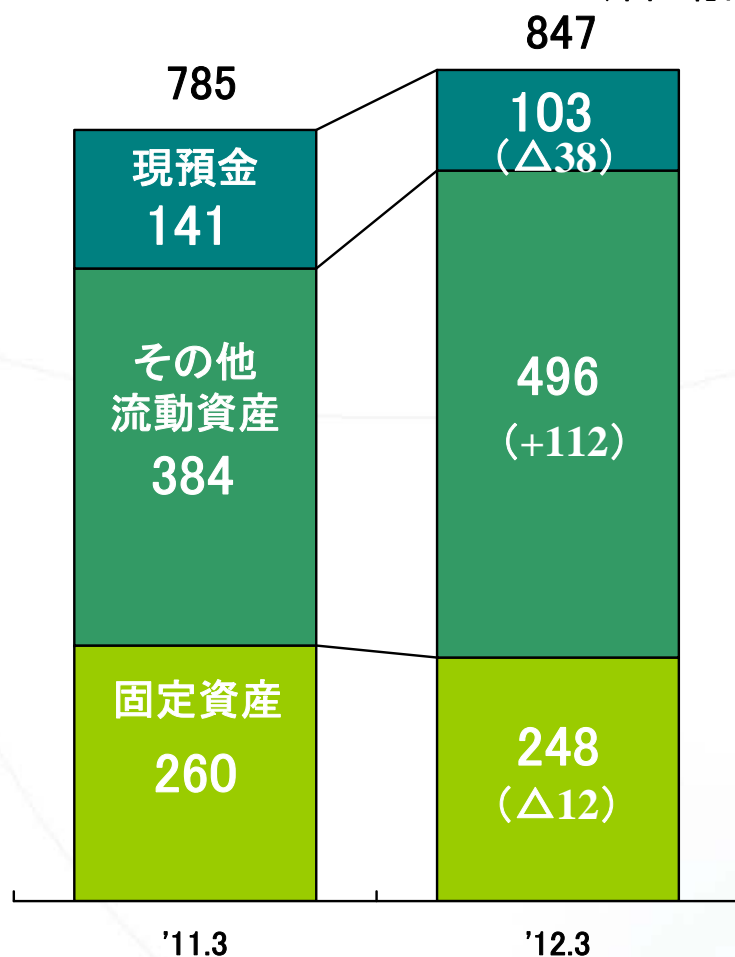
受注残(億円)



貸借対照表

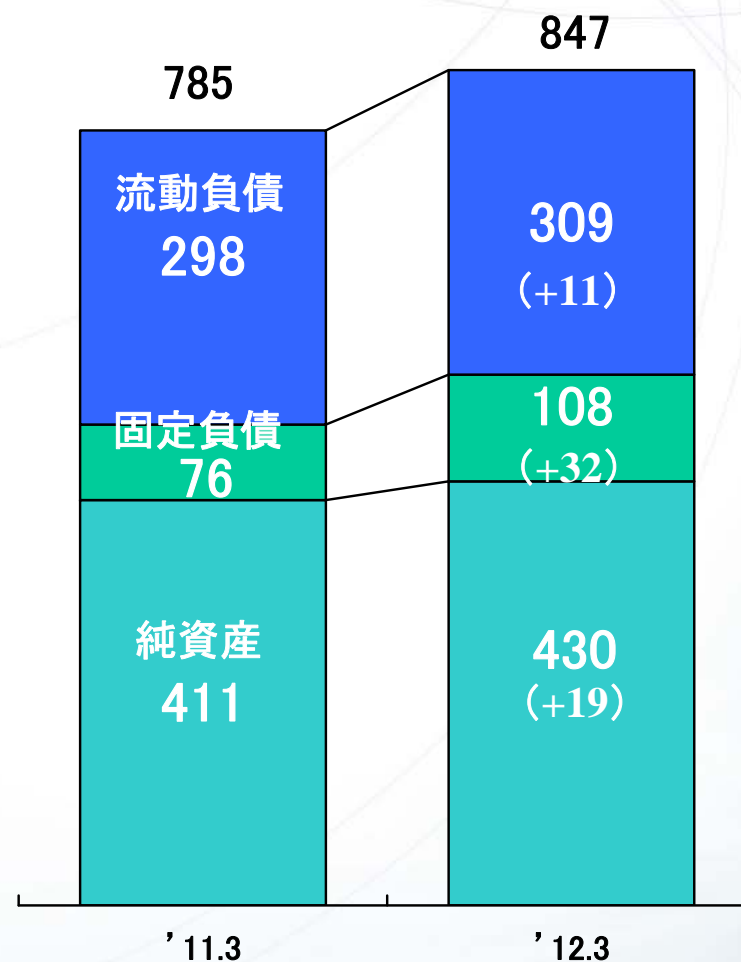
資産の部

(単位:億円)



負債・純資産の部

(単位:億円)



主な指標

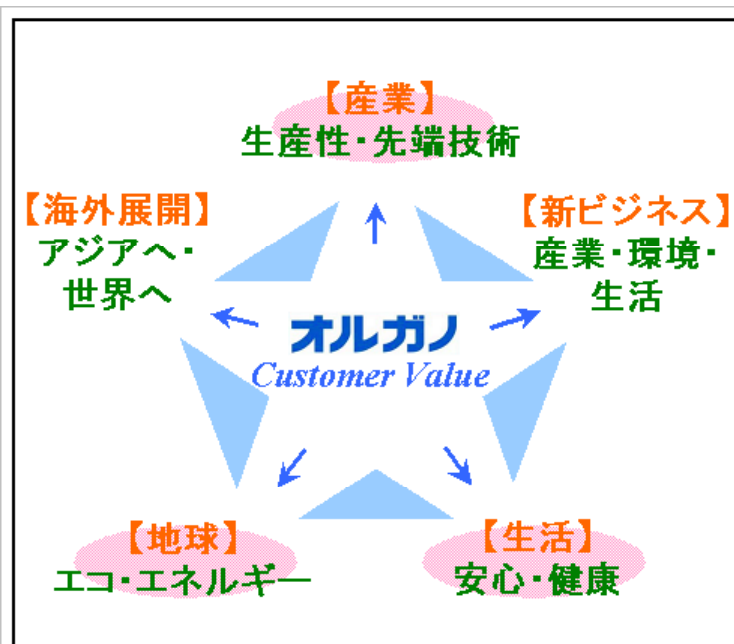
(単位:億円)

	2012年3月期	2013年3月期(予想)
設備投資額	7	10
技術研究費	19	19
減価償却費	11	12
有利子負債	138	130
従業員数(人)	1,770	1,820
配当金(円)	12/年間配当	12/年間配当

オルガノグループ中期経営方針

【企業理念】 “Ecologically Clean”

【中期経営ビジョン】 “Customer Value創造企業”



オルガノグループは、提供する製品・技術・サービスを通じ、お客様に貢献することで、人（産業と生活）と地球の未来に貢献する企業を目指す。

市場とお客様に真剣に向き合い、製品・技術・サービスを磨き、お客様のニーズに応えることはもちろん、お客様の価値と満足（Customer Value）を創造する企業を目指す。

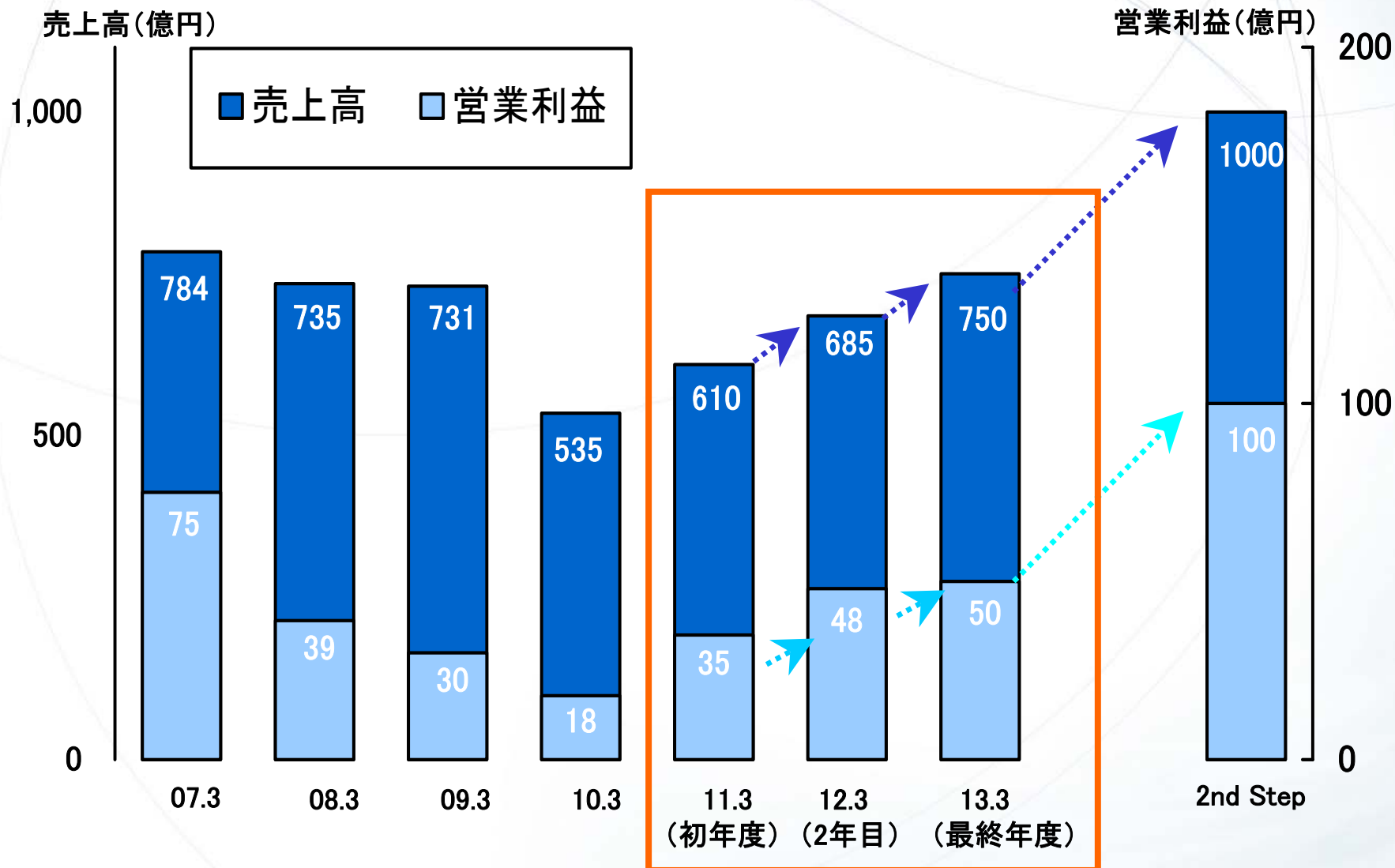
中期経営方針

- ◎ 中期経営計画の2年目計画を達成し最終年度へ
 - ・ 市場志向による積極的な拡大を継続
 - ⇒ 更なる地域密着、顧客重視ビジネス
- ◎ 国内・E L・純水ビジネス依存構造から海外・産業全般純水/排水対応型へのシフトを加速
- ◎ 当初設定した中計最終目標(売上750億円、営業利益50億円)の達成を目指す
- ◎ 次期中期目標(売上高1000億円、営業利益100億円)のための基盤となるよう取り組みを行う

基本方針

1. プラント、ソリューション、機能商品3事業強化
2. 海外部門の強化
3. 経営・事業基盤の強化

連結売上高・営業利益 中期計画



新商品・新技術への取組み ～住生活系商品

【住宅用空気清浄機 エアワッシャー】



■ 特長

- ・ 水で空気を洗う新方式
- ・ フィルター交換不要で、初期性能維持
- ・ 花粉、排ガス成分、放射性物質等を効果的に除去

■ 販売先

- ・ 住宅メーカー、住宅設備メーカーなど

■ 予定

- ・ 用途の提案と合わせマーケティング中
(本年度中発売予定)

【純水ボトルドウォーター ピュリフィ】



■ 特長

- ・ ミネラル分を含まない超軟水(不純物0%)
- ・ 安心安全を意識する乳幼児向け調乳用や離乳食に最適

■ 予定

- ・ 用途の提案と合わせマーケティング中
(本年度中発売予定)

新商品・新技術への取組み ～小型標準機器



【RO浄水器 オスモピュア】

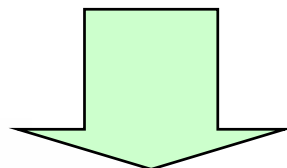
■ 特長

- ・ 活性炭+RO(3本)による水道直結型浄水器
- ・ タンクレスでコンパクト化を実現
- ・ RO採用により微粒子だけでなく溶存物質も除去

【小型純水装置 メガユニティ】

■ 特長

- ・ 活性炭+RO+イオン交換樹脂(2塔)による水道直結型純水装置
- ・ $1M\Omega \cdot cm$ 以上の純水を採水可能



- ・ 装置本体は共通化
- ・ 構成部材(活性炭、RO、イオン交換樹脂)には共通サイズのカートリッジタイプを採用
- ・ 顧客自身によるメンテナンスが可能(カートリッジ交換が容易)

新商品・新技術への取組み

【工水・井水の飲料水化】

◆ 飲料水(専用水道)の供給サービス



■ 特長

- ・ 水供給サービスのため初期投資不要
- ・ 安価に水道水グレードへ
- ・ 断水時(水道水)のバックアップとしてBCPにも有効

■ 適用分野

- ・ 工場、ショッピングモール、病院など

【キャビネット型純水製造装置】

◆ スーパーデサリナーSDシリーズ



■ 特長

- ・ 優れた省エネルギー性
- ・ 薬品を使用しないことによる高い安全性と環境配慮
- ・ 用途に応じた水質、流量のラインナップ

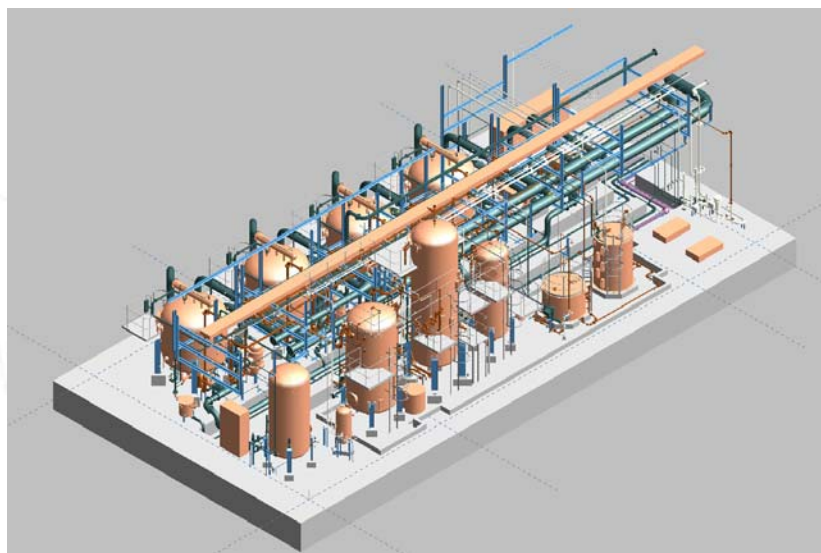
■ 販売先

- ・ 化粧品工場、精密機器・電子部品製造工場など

新商品・新技術への取組み ～ 発電所向け水処理設備

【複合型復水ろ過脱塩装置 ACFD】

(Advanced Condensate Filter and Demineralizer)



■ 特長

- 従来独立していた復水ろ過装置(CF)と復水脱塩装置(CD)を一体化
- 高流速処理により、省スペース、コンパクト化を実現

■ ターゲット

- 新設発電所向けに営業活動を展開中

新商品・新技術への取組み ～用排水処理向けプラント

【高速凝集沈殿装置(除濁装置)】



■ 特長

- 当社従来比 4～6倍の高流速処理
- 省スペース、コンパクト化
- 汚泥の脱水性改善(廃棄物削減)

■ 適用分野

- 各種排水処理装置

【高速加圧浮上装置(除濁装置)】



■ 特長

- 当社従来比 3～4倍の高流速処理
- 省スペース、コンパクト化による建設費低減

■ 適用分野

- 上水、用水、排水処理装置

本日はご出席頂きまして
誠にありがとうございました。

(お問合せ先)
オルガノ株式会社
〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8
経営企画部企画グループ(担当 七海、竹井)
TEL 03-5635-5111
FAX 03-3699-7240
URL <http://www.organo.co.jp>

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。